

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公民館管理				シート番号	007-044
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	生涯学習	課 評価責任者(課長名) 立花

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	生活環境の充実と地域社会活動の推進	無
	2	事業開始年度	昭和 35 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	社会教育法、堺市立公民館の設置及び管理に関する条例、堺市立公民館管理運営規則			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	社会教育法に基づき、本市の社会教育推進のため、金岡公民館、東百舌鳥公民館、福泉公民館、八田荘公民館、新金岡公民館、錦西公民館を順次設置				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (公民館6館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	社会教育法第20条に基づき、公民館の管理運営を通じて、生涯学習の振興、地域づくり、住民相互の親睦を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>市立公民館は、現在6館(錦西公民館、八田荘公民館、東百舌鳥公民館、福泉公民館、金岡公民館、新金岡公民館)設置しており、自主的な生涯学習グループの継続的な活動を支援するため、学習の場を提供している。また公民館において定期的・継続的に学習活動をする団体を「文化教室」として登録し、自主的な運営を支援している(令和元年度114団体)。</p> <p>さらに、文化教室を中心として公民館まつりを開催し、活動成果の発表と地域住民との交流の機会を広げている。</p> <p>◇開館時間 午前9時～午後9時(ただし、八田荘公民館、福泉公民館、錦西公民館は日曜日のみ午前9時～午後5時)</p> <p>◇休館日 月曜日、年末年始、国民の祝日に関する法律に規定する休日(その日が月曜日に当たるときはその翌日)</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	45,084	53,836	79,570	76,482	48,056	44,621	52,312
	主な事業費内訳								
	報酬・賃金・職員手当	千円	23,569	22,232	23,734	23,823	25,520	24,036	26,628
	委託料・工事請負費	千円	7,541	7,185	37,835	40,024	8,547	8,378	11,033
	備品購入費	千円	0	12,744	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			1,486	1,022			733
	財源内訳								
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円			17,800	15,700			
	その他(光熱水費 徴収金)	千円	88	118	100	129	105	89	105
	一般財源	千円	44,996	53,718	60,184	59,631	47,951	44,532	51,474
12	人件費 (b)	千円	23,740	23,740	23,240	23,240	23,670	29,340	34,080
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	68,824	77,576	102,810	99,722	71,726	73,961	86,392

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	公民館管理	シート番号	007-044
-------	-------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>公民館は、市民の自主的な学習活動や自治会等の会議・行事など、子どもから高齢者まで、令和元年度は延べ15万人が利用されるなど、学びを通じて校区を超えたコミュニティ醸成の場としての役割も果たしている。</p> <p>また、定期的・継続的な活動を支援するため文化教室制度を設け、多様な市民の学習要望(活動実績約4,300件、延べ6万3千人)に応え、文化教室は、書道、絵画、コーラス、武道、体操など文化的な活動のほか、手話やパソコン、外国人のための日本語教室など、様々な課題解決に向けて市民が主体的に活動を行っている。</p> <p>さらに、文化教室が中心となり、隔年で開催している公民館まつりは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催準備を進めてきたが中止となった(金岡・錦西公民館)。</p> <p>なお、同様の理由で各公民館は令和2年3月5日から臨時休館を行った。</p>						
		15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		延べ利用人数	目標値	188,118	188,118	188,118	109,800	
			実績値	170,672	168,679	150,108		
			達成率	91%	90%	80%		
	評価		普通	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など 過去実績の最高値に新型コロナウイルス感染拡大対策による利用停止及び再開後の定員人数の見直しを考慮して設定							
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	公民館まつり来場者数	目標値	-	-	-	1,653		
		実績値	1,253	1,653	0			
達成率		-	-	-				
評価		-	-	-				
算出方法・設定根拠など 過去実績値を目標に設定(金岡・錦西と福泉・八田荘・新金岡のグループごとに隔年実施)								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	延べ利用人数	人	170,672	168,679	150,108	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	75,526	98,082	68,291	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	443	582	455	
	備考(算出についての説明等) 公民館施設管理運営に係る年間経費(人件費含む)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①	公民館まつり来場者数	人	1,253	1,653	0	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	0	0	0	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	0	0		
	備考(算出についての説明等) H29は金岡・錦西H30は福泉・八田荘・新金岡公民館で実施。公民館文化教室まつり実行委員会主催のため市費の支出は発生しない(令和元年度は中止)						

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析
(その他、関連情報に基づいた分析)

19 公民館の利用者数については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うサークル活動・地域活動の自粛及び公民館を臨時休館(令和2年3月5日以降)したことにより、目標を達成できなかった。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、公民館文化教室まつり実行委員会の決定により、公民館まつりは中止となったが、市民の安全・安心の観点から、開催中止は適切であったと考える。

なお、臨時休館中も利用団体から、利用再開を待ち望む声が多く寄せられ、市民の学習意欲は引き続き高いと考えている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	公民館管理	シート番号	007-044
-------	-------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民の自主的・継続的な学習の場がなくなり、学びを通じたコミュニティの場も失われることで、地域づくり、地域コミュニティの活性化にも影響が出る。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民の自主的・継続的な学習の場がなくなり、学びを通じたコミュニティの場も失われることで、地域づくり、地域コミュニティの活性化にも影響が出る。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 公民館において講座の開催等の経費が発生する主催事業は行っておらず、館運営にかかる人件費や施設管理費など必要最低限の経費であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 施設管理者として感染予防策を徹底するとともに、公民館利用者に対しても、3密回避や手指消毒などの感染予防策について周知徹底を行い、運営している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (財産活用課) 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 現在、「堺財務戦略」において、全市的な観点から公共施設の総量の最適化を推進する方針が示されており、今後、これを踏まえ、効果的・効率的な事業実施について検討していく必要がある。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 公民館は学びの場であるとともに、地域コミュニティの場としても重要な役割を担っており、今後も市民にとって利便性が高い施設となるよう、引き続き適正な管理運営を行っていく。 なお、現在、「堺財務戦略」において、全市的な観点から公共施設の総量の最適化を推進する方針が示されており、今後、これに基づき公民館のあり方について検討していく必要がある。		